

鹿児島市交通事業経営計画の実施状況 (令和3年度実績)

1. 総括表（令和3年度末時点）	．．．．．	P	1		
2. 目標指標達成状況	．．．．．	P	2		
3. 計画期間における具体的な取組					
(1) 安全運行の推進	．．．．．	P	3	～	6
(2) 快適で便利なサービスの提供	．．．．．	P	7	～	10
(3) 経営基盤の強化	．．．．．	P	11	～	16
(4) 公営交通事業者としての役割を踏まえた事業推進	．．．	P	17	～	22

交通事業経営計画の実施状況 総括表(令和3年度末時点)

	施策数	実施済(完了)のもの (◎)	実施中(継続中)のもの (○)	実施時期及び実施内容を 検討中のもの (△)
基本目標1 安全運行の推進	12	0	12	0
(1) 運輸安全マネジメントの推進	3	0	3	0
(2) 乗務員等の健康管理・人材育成	3	0	3	0
(3) 施設の適切な維持管理等	4	0	4	0
(4) 災害等への対策	2	0	2	0
基本目標2 快適で便利なサービスの提供	13	1	12	0
(1) 快適な車両空間の提供	3	0	3	0
(2) 待合環境の整備	3	1	2	0
(3) 利用者の利便性の向上	7	0	7	0
基本目標3 経営基盤の強化	25	3	20	2
(1) 運行の効率化	4	3	1	0
(2) 経費節減	6	0	6	0
(3) 増収対策	10	0	8	2
(4) 効果的な資産の活用等	3	0	3	0
(5) 組織の活性化	2	0	2	0
基本目標4 公営交通事業者としての役割を踏まえた事業推進	17	0	14	3
(1) 交通施策との連携	2	0	2	0
(2) 観光施策との連携	5	0	4	1
(3) まちづくり施策との連携	4	0	4	0
(4) 地域社会に根ざした取組	6	0	4	2
計	67	4	58	5

目標指標達成状況

基本目標・目標指標	基準値 (H30年度末) a	➡	目標値 (R8年度末) b	R3年度末値 c	進捗率 ※1
1 安全運行の推進					
有責事故件数(電車)	10件/年	➡	前年度以下の件数	6件	× (R2年度:2件)
有責事故件数(バス)	30件/年 ※2	➡	前年度以下の件数	24件	○ (R2年度:34件)
健診結果が要治療等である者の健康相談への参加率	63.0%	➡	100%	73.4%	28.1%
センターポール照明のLED化	—	➡	100%	38.4%	38.4%
2 快適で便利なサービスの提供					
バリアフリー対応車両の割合(電車・バス)	64.3%	➡	70.0%	70.5%	109.3%
電車車内握り棒の設置	15両	➡	46両	40両	80.6%
電停デジタルサイネージ設置	—	➡	全35停留場	0停留場	0.0%
モバイルパス(スマホ一日乗車券)販売枚数	—	➡	7,000枚/年	3,725枚	53.2%
3 経営基盤の強化					
車体広告の年間稼働率	72.3%	➡	90.0%	82.1%	55.4%
上荒田局舎の年間電気使用量	160,000KWh	➡	計画期間内で3%削減を達成	162,837KWh	△59.1%
遊休資産(車両、土地)の売却額	—	➡	累計2.5億円	3,502千円	1.4%
4 公営交通事業者としての役割を踏まえた事業推進					
シニア定期券販売枚数	2,039枚/年	➡	2,100枚/年	1,894枚	△237.7%
排出ガス規制適合車の割合(バス)	63.8%	➡	80.0%	82.2%	113.6%
職場体験学習アンケート結果で「交通局を選んでよかった」の割合	60.0%	➡	90.0%	100.0%	133.3%

※1 進捗率 計算式: $(R3年度末値 - 基準値) / (目標値 - 基準値) \times 100$

※2 「有責事故件数(バス)」の基準値30件/年は、H30年度末の実績値44件/年から路線移譲による事業規模の縮小を考慮して定めた値

1 安全運行の推進

(1) 運輸安全マネジメントの推進

施策No.	計画掲載	具体的な取組 ◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課																
1	P25	安全管理体制の確立等 日頃から危険要素の排除に努め、常に安全意識を高く持って業務に取り組むとともに、法令等に基づき、局の安全管理体制を確立し、輸送の安全の水準の維持及び向上を図ります。また、局が設置する運輸安全マネジメント委員会において安全重点施策を決定するなど、安全管理のマネジメントを行うとともに、毎年度、輸送の安全に関わる情報を公開します。	○	● 運輸安全マネジメント委員会、内部監査員養成研修会、内部監査、各事業課における研修会、訓練等を実施した。 ・運輸安全マネジメント委員会 第1回 令和3年4月22日開催 第2回 令和3年10月26日開催 第3回 令和4年3月28日開催 ・輸送の安全に関する公表 令和3年7月7日公表(局HP・掲示板) ・内部監査員養成研修会 令和3年8月23日開催 ・内部監査 令和4年1月27日実施 ・事故等調査委員会(開催なし) ・各事業課における研修会、訓練等 <電車事業課> 現任教育研修(16回)、脱線復旧等訓練(1回) など <バス事業課> 乗務員研修(4回)、運行管理者一般講習(1回)、 整備主任者技術研修(1回)、整備主任者等定期研修(1回) など	総務課																
2	P25	ヒヤリハット情報等の収集・活用 重大な事故等には至らないが、その一歩手前の事例等を収集し、職員間で情報共有することによって、未然防止に努めます。また、ドライブレコーダーに記録された情報を迅速に確認するなど、事故処理・対応に活用するとともに、乗務員研修等にも積極的に活用します。	○	● ヒヤリハット事例を点呼時や毎朝ミーティングで情報共有し、事故の未然防止に努めた。 ● ドライブレコーダーの映像を迅速な事故処理・対応に活用したほか、全体研修等において、積極的に活用し、職員のより一層の安全意識の向上に努めた。	電車事業課 バス事業課																
3	P25	重大な事故等への対応 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処理をとるとともに、被害の拡大防止に取り組みます。また、事故等調査委員会において原因の調査究明等を行い、今後の再発防止を図るとともに、一定基準以上の事故等は、随時、情報を公開します。 [目標値] 有責事故件数(電車、バス) (H30末)電車 10件/年、バス 30件/年 → (R8末)前年度以下の件数	○	【総務課】 ● 事故・トラブル情報を交通局HPに掲載した。 ・電車(23件):道路障害、信号冒進、異線侵入、車両火災 など ・バス(1件):車内転倒 ● 事故等調査委員会の開催実績なし 【電車事業課】 ● 重大事故につながるおそれのあるインシデントが2件発生した。 【バス事業課】 ● 重大事故については、直営においては発生していない。なお、委託事業者において、国への報告が必要な事案が発生(1件)したが、適切に対応した。 [目標指数の実績] 有責事故件数 <table border="1" data-bbox="1310 1316 1720 1476"> <thead> <tr> <th></th> <th>電車</th> <th>バス</th> <th>(うち直営)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>6件</td> <td>24件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>2件</td> <td>34件</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>4件</td> <td>△10件</td> <td>△14件</td> </tr> </tbody> </table>		電車	バス	(うち直営)	R3	6件	24件	11件	R2	2件	34件	25件	増減	4件	△10件	△14件	総務課 電車事業課 バス事業課
	電車	バス	(うち直営)																		
R3	6件	24件	11件																		
R2	2件	34件	25件																		
増減	4件	△10件	△14件																		

(2) 乗務員等の健康管理・人材育成

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組 ◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課
4	P25	安全衛生管理の推進 定期健康診断等の結果が「要治療」の者等に対する健康指導や相談などの徹底により、乗務員等の健康維持を図るとともに、SAS(睡眠時無呼吸症候群)検査やメンタルヘルス対策、安全衛生委員が行う職場点検等を通じた快適な職場環境の形成を促進することで、安全輸送と事故防止に繋がります。 [目標指標] 健診結果が要治療等である者の健康相談への参加率 (H30末)63% → (R8末)100%	○	● 安全衛生委員会にて年2回(7月、10月)に職場点検を行った。 ● 全職員(会計年度任用職員含む)を対象に定期健康診断を実施した。 ・実施時期：令和3年4月～6月 ・受診率：100%(291名受診) ・「要治療」等所見者 72名 ● 定期健康診断の結果に基づき、毎月、健康相談を実施した。 ・上荒田局舎、新栄営業所それぞれ6回、計12回実施した。 ● SAS(睡眠時無呼吸症候群)検査を令和3年7月19日～8月2日まで実施した。(75名受診) ● ストレスチェックを令和3年7月19日～8月2日まで実施した。(321名受診) [目標指標の実績] 健診結果が要精密検査等である者の健康相談への参加率：73.4%(113名) 対前年度増減：0.8%減 [令和2年度実績：74.2%(112名)]	総務課
5	P25	職員研修の充実 快適な職場環境づくりや職員の資質向上等にむけた管理職員に対する職場のマネジメントや人材育成のための研修、電車・バス両事業課における部門間の連携・協力や整備部門での知識・技術の習得のための研修などを行います。	○	【総務課】 ● 研修計画に基づき、職員研修を実施した。 ・新任主査研修(主査昇格者のうち局採用職員が対象) 令和3年7月7日実施 4名出席 ・節目研修(採用後5年、10年、15年、20年の局採用職員が対象) 令和3年8月4日、5日実施 28名出席 【電車事業課】 ● 全国交通安全運動等によせた全体研修3回(うち書面開催1回)や課全体での脱線復旧訓練のほか、各係において計画的に研修を実施した。 【バス事業課】 ● 新型コロナウイルス感染症対策のため、書面研修となった回を含めて4回の研修を実施した。令和3年度第4回の研修(12月開催)に併せて、事故防止及び安全意識向上の観点から「認知症サポーター養成講座」を実施した。なお、外部研修については公営交通事業協会主催の「省エネルギー運転研修」、「運行管理者研修」が中止となった他、茨城県の安全運転研修所に派遣予定の研修には参加しなかった。	総務課 電車事業課 バス事業課
6	P25	技術の承継 優れた運転技能や整備等に関する知識・経験やノウハウを次の世代に承継していくため、乗務員については、ドライブレコーダーの映像等も活用した研修を実施するとともに、必要に応じて、運行指令や運行管理者、マスタードライバーなどによる指導等を行います。また、整備や施設管理等においては、熟練者による指導はもとより、作業技術が確実に受け継がれるための仕組みづくりを検討します。	○	【電車事業課】 ● 乗務員に対して、全体研修において、ドライブレコーダーを活用しながら、安全統括管理者が事故削減に向け指導を行った。 ● 整備士に対して、整備マニュアルに沿った作業を行うよう、熟練者等による研修を定期的に行い、技術の継承が図られるよう努めた。 【バス事業課】 ● 乗務員に対して、ドライブレコーダー映像を活用した研修や運行管理者による添乗研修を実施するなどの指導を行った。 ● 整備技術については、必要に応じて複数人で実施するなどの作業技術の共有化を図っている。	電車事業課 バス事業課

(3) 施設の適切な維持管理等

施策No.	計画掲載	具体的な取組 ◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課
7	P26	基盤設備の維持・向上 < 拡充 > 電車の安全輸送のため、軌道や架線等の設備について定期的に巡視、点検、検査を実施し、不具合箇所を速やかに補修するなど機能の維持に努めるとともに、老朽化が懸念される設備等について、年次的な更新を行います。また、市電センターポールの水銀灯については、LED化を進めます。 [目標指標] センターポール照明のLED化 0% → 100%	○	● 軌道や架線等の整備の定期的な巡視・点検、補修等を行うとともに、甲東中学校前停留場から高見馬場交差点を経て、中洲通停留場までの間のセンターポール照明に使用されている水銀灯(88個)をLEDに交換する工事を実施した。 [目標指標の実績] センターポール照明のLED化 : 38.4% [188個/490個] (令和4年3月31日時点)	電車事業課
8	P26	道路交差点内の軌道敷舗装の改修 県道交差点内の軌道敷舗装について、道路管理者と協議し計画的に損傷部の改修を行い、車両横断時の騒音及び振動の軽減に努めます。	○	● 荒田八幡交差点の舗装段差について、道路管理者(県)と協議を行い、道路管理者が車道部の舗装のかさ上げを行い、交通局が軌道敷内の舗装の切削を実施し、同交差点の段差を解消した。	電車事業課
9	P26	作業環境の効率性向上 車両整備や施設の維持管理を効率的かつ安全に行うため、旋盤等の整備機器を計画的に更新し、作業の精度と効率性を高めます。また、バス車両の洗車のあり方について検討します。	○	【電車事業課】 ● これまで外部委託で実施していた車軸探傷検査について、車軸超音波探傷器を購入し、資格保有者による直営で検査できる体制を構築した。(R4より実施) (58両/年 → 20両/年の重要部・全般検査で実施する) ● 高所作業車の納入(令和2年度契約したもの) 【バス事業課】 ● 作業環境の向上への取り組みとして、令和3年度からの車両整備の制度変更にあわせて、機器購入のうえ人材育成に取り組んだ。 ● バス車両の洗車については、引き続き委託により実施することを決定した。	電車事業課 バス事業課
10	P26	車内の安全性向上 車内での事故を未然に防止するための乗務員研修・教育の充実を図るとともに、車内転倒事故などの防止について利用者に啓発を行います。また、現在、市電の車内に試験的に設置している握り棒の効果を検証するほか、濡れるとすべりやすくなる心皿やステップなど隠れた車内の危険を改めて洗い出し、その解消に向けて取り組みます。 [目標指標] 電車車内握り棒の設置 (H30末)15両 → (R8末)46両	○	【電車事業課】 ● 車内転倒防止のため、7両に握り棒を追加設置した。(令和4年度完了予定) 【バス事業課】 ● 車内事故防止について、乗務員研修の実施等行った他、利用者に対し、バス車内通路床面に注意喚起のシールを貼付するなど事故防止に努めた。またバス車内事故防止に関する利用者及びドライバーへのお願い事項を局ホームページに掲載した。 [目標指標の実績] 電車車内握り棒の設置 : 40両 (令和4年3月31日時点)	電車事業課 バス事業課

(4)災害等への対策

施策 No.	計画 掲載	具体的な取組	◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課
11	P26	北営業所の耐震化 <拡充> 北営業所施設を長期的に使用可能なものとするため、令和元年度に実施した同施設に係る耐震診断の結果に基づき、必要な耐震化工事等を行います。	○	○	● 北営業所は、昭和52年建築の「旧耐震」基準で建築されている。耐震診断の結果、地震による建物崩壊の危険性は低いと判断されたが、同診断において指摘のあった高架水槽については、令和3年度に撤去した。	バス事業課
12	P26	対応マニュアル等の整備や訓練等の実施 自然現象や人為的な原因によって災害が発生した場合に、様々な対応を適切に実施するため、乗務中に発生した災害への適確な対応や、災害が事業に与える影響を軽減し、より早く事業を再開できるようにする初動対応マニュアル等の整備を検討するとともに、具体的な事例を想定した災害復旧訓練や防災訓練等に取り組みます。	○	○	● 人事異動に伴い、災害対策要員の配備等マニュアル、災害対策配備要員名簿(連絡網)、通常業務優先区分表(旧業務継続計画)等の整備を行った。 ● 市災害対策本部における各種訓練等の参加や局内において研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 桜島火山爆発総合防災訓練 ▪ 災害対策本部設置訓練 ▪ 緊急地震速報対応訓練(Jアラート) など 	総務課

2 快適で便利なサービスの提供

(1) 快適な車両空間の提供

施策No.	計画掲載	具体的な取組 ◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課																																		
13	P27	低公害・低床型車両の運行 引き続き、超低床電車や低公害低床型バスを運行することにより、全ての利用者が快適に利用できる環境を提供します。なお、車両を購入する必要が生じた場合には、原則、低公害・低床型の車両を選定することとします。 [目標指標] バリアフリー対応車両の割合(電車、バス) (H30末)64.3% → (R8末)70%	○	【電車事業課】 ● 新規購入の際は、超低床電車の導入に向け検討する。 ● 各系統において、約4本に1本の割合で、低床車両を運行した。 【バス事業課】 ● 令和3年度における車両購入の実績はないが、車両購入時においては、低公害・低床型の車両を導入することとしている。 ● 一部の小型バスを除き、全車低床バスで運行した。 ※在籍バス135両中、116両が低床バス、1両がリフト付大型貸切観光バス [目標指標の実績] バリアフリー対応車両の割合(令和4年3月31日時点) <table border="1" data-bbox="1167 555 1998 708"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">電車</th> <th colspan="2">バス</th> <th colspan="2">電車・バス合計</th> </tr> <tr> <th>車両数</th> <th>対応率</th> <th>車両数</th> <th>対応率</th> <th>車両数</th> <th>対応率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>17/55両</td> <td>30.9%</td> <td>117/135両</td> <td>86.7%</td> <td>134/190両</td> <td>70.5%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>17/55両</td> <td>30.9%</td> <td>134/153両</td> <td>87.6%</td> <td>151/208両</td> <td>72.6%</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>なし</td> <td>0.0%</td> <td>△17/△18両</td> <td>△0.9%</td> <td>△17/△18両</td> <td>△2.1%</td> </tr> </tbody> </table>		電車		バス		電車・バス合計		車両数	対応率	車両数	対応率	車両数	対応率	R3	17/55両	30.9%	117/135両	86.7%	134/190両	70.5%	R2	17/55両	30.9%	134/153両	87.6%	151/208両	72.6%	増減	なし	0.0%	△17/△18両	△0.9%	△17/△18両	△2.1%	電車事業課 バス事業課
	電車		バス			電車・バス合計																																	
	車両数	対応率	車両数	対応率	車両数	対応率																																	
R3	17/55両	30.9%	117/135両	86.7%	134/190両	70.5%																																	
R2	17/55両	30.9%	134/153両	87.6%	151/208両	72.6%																																	
増減	なし	0.0%	△17/△18両	△0.9%	△17/△18両	△2.1%																																	
14	P27	乗務員等の接客サービスの均等化と向上を図るため、接客サービスに関する研修を定期的に行います。	○	【電車事業課】 ● 接客及び接客に関する項目を入れた研修を年3回実施した。 【バス事業課】 ● 乗務員研修時に接客接客に関する内容研修を行った他、運行管理者等による添乗指導等を実施し接客サービスの向上に努めた。	電車事業課 バス事業課																																		
15	P27	利用者への啓発 利用される方々が快適に過ごせる車内環境となるよう、車内における迷惑行為防止や混雑時のゆずりあい等のマナー向上等について、乗務員等によるアナウンスや車内への啓発ポスターの掲示、マナーアップ期間の設定など、利用者への更なる啓発に努めます。	○	【電車事業課・バス事業課】 ● 音声合成による車内放送、乗務員による車内アナウンス及びポスター掲示により利用者への乗車マナー啓発を行うとともに、令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、音声合成による車内放送及びポスター掲示により、窓の開放や咳エチケット等への理解と協力を呼びかけた。 ● 電停・車内等に子連れ客への配慮に関するポスターを掲出した。 【経営課】 ● 市内の小学生から乗車マナーに関するポスターを募集し、入賞作品を市電・市バス車内等に掲示した。 [掲示期間] 令和4年1月13日～	経営課 電車事業課 バス事業課																																		

(2) 待合環境の整備

施策No.	計画掲載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容を検討中のもの	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課
16	P27	市電停留場等の改修 老朽化した市電停留場等の上屋を改修するとともに、歩道の幅員等について一定の基準を満たした市バス停留所へのベンチ設置を進めるなど、待合環境の向上に努めます。また、車いすでの利用が難しい停留場については、国・県への働きかけ等を継続しながら、道路改良工事等の機会を捉えて道路管理者との協議を行い、幅員の拡幅に努めます。	○	○	【電車事業課】 ●なし 【バス事業課】 ● 梶原迫バス停の上屋を新設するとともに、鶴ヶ崎バス停ほか全6箇所を改修するなど、待合環境の改善を図った。	電車事業課 バス事業課
17	P27	電子看板(デジタルサイネージ)の導入 <新規> 市電停留場に、路線や時刻表のほか、走行している車両の位置や低床型などの種類、事故等による緊急情報等を、映像等を通して多言語で提供する電子看板(デジタルサイネージ)の整備を検討します。また、バス停留所については、県バス協会や市内を運行する民間バス事業者との連携を図り、市街地中心部の共同バス停への整備を検討します。 [目標指標] デジタルサイネージ設置(電車) (H30末)0 → (R8末)全35停留場	○	○	【総合企画課・電車事業課】 ● 事業内容について内部検討、関連業者との意見交換を行った。 【バス事業課】 ● 市内中心部の共同バス停へのデジタルサイネージ整備については、県バス協会が主体となり、令和4年度の設置(1基)が決定した。 [目標指標の実績] デジタルサイネージ設置(電車) : 0停留場	総合企画課 電車事業課 バス事業課
18	P27	鹿児島駅前停留場の整備 <拡充> 鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業によるJR鹿児島駅舎建替えにあわせて、交通結節の機能強化と利便性の向上を図るため、鹿児島駅前停留場について、バリアフリーに対応した拡幅や上屋及び軌道施設整備、電気設備の改良等に取り組みます。	◎	◎	● 鹿児島駅前停留場について、新たな上屋を整備するとともに、拡幅や視覚障害者用誘導ブロックの設置等、バリアフリーに対応した改修を実施し、令和3年3月27日から供用を開始した。	電車事業課

(3) 利用者の利便性の向上

施策No.	計画掲載	具体的な取組 ◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課
19	P27	キャッシュレス運賃決済の導入検討 <拡充> 民間のバス事業者と連携して導入した独自のIC乗車カード「ラピカ」の機器等の老朽化や、交通系ICカード全国相互利用サービスに関する要望への対応等を図るため、技術革新が進む様々なキャッシュレス運賃決済の導入やICTの更なる活用の検討など、今後のIC乗車カードのあり方について検討します。	○	●全国交通系ICカードを含めたキャッシュレス運賃決済に関する他の交通事業者の動向や新技術について、関係事業者から情報収集等を行った。	総合企画課
20	P28	モバイルパス(スマホ一日乗車券)の導入 <新規> 紙製・スクラッチ方式の一日乗車券に加え、利用者が自身のスマートフォン等で購入し利用することができる「モバイルパス(スマホ一日乗車券)」を導入します。 [目標指標] モバイルパス(スマホ一日乗車券)販売枚数 (H30末)0 → (R8末)7,000枚/年	○	●利用者の利便性向上のため、従来の「スマホ一日乗車券(令和2年8月1日導入)」に加え、開始時から24時間使用可能な「スマホ24時間乗車券」を導入した。 ・サービス開始：令和3年8月1日 ・アプリ：乗換案内(ジョルダン(株)) ・価格：大人 800円、小児 400円 ・利用できる路線：市電、市バス、カゴシマシティビュー [目標指標の実績] スマホ一日乗車券 3,136枚 (令和3年4月1日～令和4年3月31日) スマホ24時間乗車券 589枚 (令和3年8月1日～令和4年3月31日)	経営課
21	P28	国体おもてなしラピカの発売 <新規> 令和2年に鹿児島国体開催を控えるなど、交流人口の拡大が予測される中、県外からの訪問者が快適に市電・市バスを利用できるよう、既存のICカードを再利用し、回数券機能だけを有し、本市来訪の記念に持ち帰ることもできるデポジット(保証金)なしのIC乗車カード「国体おもてなしラピカ」を発売します。	○	●令和3年度も引き続き、観光客や修学旅行生向けに「観光おもてなしラピカ」を発売した。 ・販売開始：令和2年8月1日 ・販売実績(令和3年4月1日～令和4年3月31日) 通常分(1,000円)：753枚 空港分(3,000円)：217枚 ・発売場所 (交通局) 交通局内・市役所前 両乗車券発売所、桜島営業所(※車内では発売しない) (ホテル) 東急REI(R3.9.30まで)、サンロイヤル、ソラリア西鉄、ガストフ、プラザホテル天文館、リッチモンドホテル(天文館、金生町) (その他) 鹿児島中央駅総合観光案内所、鹿児島中央駅東口駅前広場観光案内所 かごしま特産品市場、鹿児島空港観光・総合案内所	経営課

(3) 利用者の利便性の向上

施策No.	計画掲載	具体的な取組	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> ◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの </div>	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課
22	P28	ロケーションシステムの運用 利用者が自身のスマートフォン等を用いて、運行中の市電・市バスの路線情報、時刻表及び車両位置情報等を多言語で検索し閲覧することができるロケーションシステムを運用することで、目的地への移動のフォロー、インバウンド対応及び待ち時間の負担軽減等を図ります。		○	【総務課】 ● 令和2年1月1日に本格運用を開始したロケーションシステムの運用を行うとともに、ダイヤ改正等に応じてデータの修正等を行った。 <利用者向けアプリ> ・MOKUIKU：経路・料金検索(多言語対応) ・PINA：市電・市バスの位置情報 ・楽PINA：登録停留場(所)への接近情報 <対象車両(令和4年3月31日現在)> ・市電：55両 ・市バス：124両 【電車事業課】 ● 電車運行情報システムと併用してロケーションシステムを運用することで、より正確な運行情報を把握し、運行管理に活用した。 【バス事業課】 ● 引き続きロケーションシステムを運用するとともに、電話等による遅延運行の問い合わせへの対応時には、システムにより運行状況を確認し迅速に対応した。	総務課 電車事業課 バス事業課
23	P28	多様な媒体を通じた情報発信 <拡充> 局ホームページ及び市電・市バス車内や停留場等において、時刻表や路線図、各種乗車券の情報などを提供するほか、「市民のひろば」や市政広報テレビ番組、局フェイスブック等を通じて、局の取組に関する情報提供に努めます。また、災害や事故発生時等の運行情報をリアルタイムで発信するため、ツイッターやウェイボー(中国版ツイッター)の活用を検討します。		○	● 局公式ツイッターを活用し、災害や事故発生等の運行情報についてリアルタイムでの発信を行ったほか、局公式YouTubeチャンネルにて、ラッピング電車の紹介やフォトコンテスト、マナーポスターコンテストの入賞作品の紹介等、12本の動画を配信し、局の取組に関する情報提供や新たなファンの獲得に努めた。 令和4年1月4日より、鹿児島市公式LINEでの「市電・市バスの交通情報」の配信を開始。 <Twitter> ・開設：令和2年8月1日 ・フォロワー数：2,147人(令和4年3月31日現在) ・ツイート数：78ツイート(前年度)102ツイート <YouTube> ・開設：令和2年12月1日 ・チャンネル登録者数：427人(令和4年3月28日時点) ・配信動画本数：12本(令和3年度) <LINE> ・開設：令和4年1月4日 ・登録者数：市全体83,450人 市電3,212人 市バス3,343人(令和4年5月12日時点) ・配信件数：5件(令和3年度)	総合企画課 総務課
24	P28	オープンデータの提供 市電・市バスの時刻、路線等の情報について、「標準的なバス情報フォーマット」に準拠するデータ(GTFS-JPデータ等)を整備し、乗換案内等を行っている事業者に提供することで、観光客、インバウンド向けも含めた市電・市バス利用者の利便性向上を図ります。		○	● 引き続き、市営バスの運行データについて、国が指定する標準様式であるGTFS-JPデータを作成し、Googleへ提供したほか、他の経路検索事業者等が利用できるように、鹿児島市オープンデータに掲載した。 ・ダイヤ改正に伴うデータの更新(令和3年4月1日付ダイヤ改正等)	総務課
25	P28	交通局モニターのさらなる活用 <拡充> 交通局モニターを設置し、様々な意見等を継続的に把握することで、輸送サービスの向上を図ります。また、外国人からの視点で輸送サービス改善等に関する意見等を把握するため、新たに、本市に居住する外国人を対象とする枠を創設します。		○	● 令和3年度モニター15名のうち、外国人1名を採用し、外国人の視点から意見等をいただいた。 ・令和3年度モニター：15名(うち、外国人1名[インドネシア籍]) ・モニター通信提出件数(令和3年度実績)：88件(うち、外国人からの提出17件) 対前年度増減：+39件[令和2年度実績：49件]	総務課

3 経営基盤の強化

(1) 運行の効率化

施策No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課
26	P29	路線、ダイヤの見直し 乗客需要や経済性を踏まえつつ、全路線を対象として、IC乗車カードシステムの乗降データ、交通局モニターからの意見・提言、利用者アンケート等により、市電・市バスの利用状況やニーズ等を定期的に調査・分析し、必要に応じて経路やダイヤ等の見直しを行います。	○	【電車事業課・バス事業課】 ● 新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び新たな生活様式の定着による利用減少を受け、利用者への影響ができるだけ小さくなるよう配慮しながら、ダイヤ改正(令和4年4月1日改正)に向けての検討を行った。 【バス事業課】 ● 利便性向上や浜町車庫の有効活用を図るため、鹿児島駅前広場の供用開始にあわせ栄町バス停までの延伸を検討した。	電車事業課 バス事業課
27	P29	共同運行の効率化等の検討 民間事業者との共同運行については、路線の移譲に伴いその一部を解消しましたが、継続している路線については、効率化する方策等を協議・検討します。	◎	● 令和3年4月の路線移譲に伴い、7番 明和・中央駅西口線、26番 明和線(旭ヶ丘)の共同運行を解消したほか、4番 城山・玉里線についても、令和3年4月1日付で共同運行を解消し、局の全便運行とした。	バス事業課
28	P29	バス車両の再配置 市バスの一部路線の移譲に伴い、運行に必要な車両数が減少することから、効率的な運行管理を行うため、新栄営業所に車両を集約します。	◎	● 効率的な車両管理のため、直営で管理する車両の全てを新栄営業所の所属とした。	バス事業課
29	P29	定期観光バスの見直し 定期観光バスについて、民間事業者との役割分担を視野に入れながら、日本ジオパークなどの観光資源を生かした運行コース等の見直しを検討します。	◎	● 新型コロナウイルス感染症の影響、個人旅行や小グループでの自家用車等を利用した旅行の増加など、定期観光バスのニーズの低下を踏まえ、令和3年12月をもって事業を廃止し、経費削減を図った。	総合企画課 バス事業課

(2)経費節減

施策No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課																										
30	P29	北・桜島営業所の管理の委託の実施 運行経費の削減を図るため、引き続き、管理の委託を実施します。合わせて、安全運行や利用者サービスの維持・向上に資するため、継続的に指導・監督を行い、受託者の業務改善を促します。	○	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度においても引き続き管理の委託を行い経費節減に努めた。受託者へは、乗務員研修等、機会を捉えて指導・監督を実施した。 委託期間：平成29年4月1日～令和4年3月31日 委託路線：13路線(北営業所管内)、2路線(桜島営業所管内) 委託事業者：南国交通株式会社 	バス事業課																										
31	P29	人件費の抑制 業務・組織体制の見直しや運行の見直し等による業務量の変動に応じ、適正な人員配置を行うとともに、市長事務部局等への出向について、関係部局と協議し、人事交流を行います。また、職員の退職等に対しては、正規職員のほか、再任用職員及び会計年度任用職員の採用により補充を行い、業務量に対する欠員が生じないように人員を配置します。併せて、業務の効率化及び見直しを行うことで、時間外勤務手当等の縮減を図ります。	○	<ul style="list-style-type: none"> 自動車運送事業の抜本的見直しに伴い、職員16人が市長事務部局等へ出向したほか、4人の局内配置換を行った。 自動車運送事業の抜本的見直しに伴う、民間への一部路線移譲の効果もあるが、適切な人員配置を行い時間外勤務の縮減を図った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">職員</th> <th rowspan="2">小計</th> <th rowspan="2">会計年度任用</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>電車事業課</th> <th>バス事業課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>78,319時間</td> <td>42,185時間</td> <td>120,504時間</td> <td>8,870時間</td> <td>129,374時間</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>85,345時間</td> <td>51,564時間</td> <td>136,909時間</td> <td>7,945時間</td> <td>144,854時間</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△7,026時間</td> <td>△9,379時間</td> <td>△16,405時間</td> <td>+925時間</td> <td>△15,480時間</td> </tr> </tbody> </table>		職員		小計	会計年度任用	合計	電車事業課	バス事業課	令和3年度	78,319時間	42,185時間	120,504時間	8,870時間	129,374時間	令和2年度	85,345時間	51,564時間	136,909時間	7,945時間	144,854時間	増減	△7,026時間	△9,379時間	△16,405時間	+925時間	△15,480時間	総務課
	職員		小計	会計年度任用		合計																									
	電車事業課	バス事業課																													
令和3年度	78,319時間	42,185時間	120,504時間	8,870時間	129,374時間																										
令和2年度	85,345時間	51,564時間	136,909時間	7,945時間	144,854時間																										
増減	△7,026時間	△9,379時間	△16,405時間	+925時間	△15,480時間																										
32	P29	部品の再利用や直営施工等の活用 ICカードリーダーライタや音声合成放送装置など、バス車両更新に伴い保管できるものについては、部品などを含めできる限り再利用に努めるとともに、電車の板金塗装や窓ガラス研磨など、局内で安価に対応できるものは直営で実施するなど、今後とも費用対効果を勘案し、修繕費等の縮減に努めます。	○	<p>【電車事業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電車の板金塗装(5両)や窓ガラス研磨(21両)、空調制御装置定期検査5両、車軸超音波探傷検査(290本)について、業者へ業務委託せず局職員で行うことにより、経費縮減に努めた。 <p>【バス事業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 車両の更新や減車に合わせて、必要に応じて利用可能な部品をストックし、再利用に努めた。 	電車事業課 バス事業課																										
33	P30	施設等長寿命化計画の推進 建築物や軌道事業、自動車運送事業に係るインフラ等に関して、中長期的な維持管理、更新等に係るトータルコストの縮減、予算の平準化を目指し、令和元年度に策定した施設等長寿命化計画を推進します。	○	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島市交通局施設等長寿命化計画推進委員会及び幹事会を開催し、「鹿児島市交通局施設等長寿命化計画」の推進、進行管理を行った。 長寿命化計画推進委員会開催実績：1回 長寿命化計画推進委員会幹事会開催実績：1回 	総務課																										

(2) 経費節減

施策 No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課
34	P30	<p>光熱水費など管理経費の縮減</p> <p>全職員に経費節減意識を徹底することにより、鹿児島市地球温暖化対策アクションプラン(事務事業編)の数値目標に準じて、光熱水費及びコピー用紙購入量の縮減に努めます。</p> <p>[目標指標] 上荒田局舎の年間電気使用量 (H30末) 160,000KWh → (R8末) 計画期間内で3%削減を達成</p>	○	<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 局舎及びバス整備工場の電力供給を競争入札で契約した。 ・契約(供給)期間：令和3年8月1日～令和4年7月31日 <p>【経営課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市の節電対策を踏まえ、局独自の節電対策を各課に依頼した。 ・冷房の設定温度(28℃)、暖房器具使用時の室内温度(19℃)の徹底 ・始業前、昼休み及び離席時等の消灯を徹底 ・コピーの使用枚数の削減 など <p>[目標指標の実績] 上荒田局舎の年間電気使用量：162,837KWh 対前年度増減：△286KWh [令和2年度実績：163,123KWh]</p>	総務課 経営課
35	P30	<p>エコドライブの徹底</p> <p>バスにおけるアイドリングストップ等の活用や、電車における惰行運転の徹底により、エコドライブに努め、燃料費や電力使用量の削減を図ります。</p>	○	<p>【電車事業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 専用軌道において指定した場所や交差点の手前、対抗車両との離合時に、ノッチオフによる惰行運転を行った。 ※ノッチオフ：電車の運転において、設定した速度に到達した時点で電車の加速をやめる制御 <p>【バス事業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 乗務員研修や点呼時に、あらためてアイドリングストップの必要性を促し、乗務員一人一人の意識改革に繋がるよう周知を図った。 	電車事業課 バス事業課

(3) 増収対策

施策 No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課
36	P30	<p>運賃の見直し等の検討 <新規></p> <p>将来にわたり市交通事業を継続するため、利用状況や収支状況等も踏まえ、適正な運賃のあり方等について検討します。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 運賃改定に向けて、運賃体系の見直しも含め内部検討を行った。 	総合企画課
37	P30	<p>企画乗車券の価格の見直し <新規></p> <p>キュート等の企画乗車券に、新たなオプションの付加等を検討した上で、販売価格を見直します。</p>	△	<ul style="list-style-type: none"> ● キュートの販売価格の見直しについて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等も踏まえ、令和3年度は検討を見送った。今後、運賃改定などの機会をとらえ、改めて船舶局と協議を行うこととする。 	経営課

(3) 増収対策

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課
38	P30	<p>広告収入の拡大</p> <p>訴求効果が高く、魅力ある媒体を新たに企画・提供するとともに、機会を捉えて期間限定の広告料割引キャンペーンを実施するなど、広告主の掲出意欲を高めるほか、既存媒体の料金見直し等により、広告収入の拡大を図ります。</p> <p>[目標指標] 車体広告の年間稼働率 (H30末)72.3% → (R8末)90.0%</p>	○	<p>● 新規媒体設定等の参考とするため、指定広告取次人との意見交換をメールにより実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見提出：22者/25者 <p>● 車体広告の継続及び稼働率の低い媒体への提出促進のため、割引率拡大等のキャンペーンを実施した。</p> <p>● 企業等へ局の広告媒体案内のDMを送付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話及び格安SIM運営会社：20社 ・不動産及び住宅建築事業者：24社 <p>[目標指標の実績] 車体広告の年間稼働率：82.1% (令和4年3月31日時点) 対前年度増減：△0.2% [令和2年度実績：82.3%]</p>	経営課
39	P30	<p>広告媒体の価値向上 <新規></p> <p>老朽化している広告枠の建替や補修等を実施し、広告媒体としての価値を高めるほか、全ての広告媒体をまとめた資料を作成し、営業活動に活用します。</p>	○	<p>● 専用軌道の沿線看板広告枠の建替を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脇田電停沿線看板3枠 (令和3年6月) 	経営課
40	P30	<p>観光業界との連携による乗車券等の販売推進</p> <p>観光をはじめ、本市への訪問者が増加していることから、観光コンベンション協会等と連携した利用促進PRに努めるとともに、ホテル等を対象に、一日乗車券等の販路拡大や販売推進に取り組みます。</p>	○	<p>【経営課】</p> <p>● 市内のホテルや旅行代理店等への委託販売を奨励し、新規委託販売契約を締結した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規委託販売店数：1件 ・総委託販売店数：102件 (令和4年3月31日時点) ・総委託販売実績：31,825,500円 <p>対前年度増減：3,557,200円 の増 [令和2年度実績：28,268,300円]</p> <p>● 鹿児島市観光サイト「かごしま市観光ナビ」にシティビューや利便性の高い「一日乗車券」の情報等を掲載した。</p> <p>【バス事業課】</p> <p>● 局HPに「市バスで巡れる主な観光スポット」を新たに作成し、鹿児島県観光サイト「かごしまの旅」にも当該情報を掲載した。</p>	経営課 バス事業課
41	P30	<p>グッズ販売の推進 <拡充></p> <p>交通局のイメージアップと市電・市バスの利用促進等を図るため、オリジナルグッズの製作・販売などを行うとともに、新たな販路拡大に向けて積極的に取り組みます。また、局舎1階の待合所スペースを改装し、グッズに触れ、楽しめる空間を提供することにより、販売促進や局のPRを行います。</p>	○	<p>● 新たなオリジナルグッズの製作・販売はなかったが、オリジナルグッズ購入者へ「すべらないシート」や、局オリジナルカレンダーの配付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売実績 販売額：1,571,200円 	経営課
42	P31	<p>インターネット等を活用した車両部品等の売却 <新規></p> <p>老朽化等により不要となった市電・市バスの車両部品や備品等について、インターネット等を活用して売却し、増収を図ります。</p>	○	<p>● 令和4年2月に紀尾井町戦略研究所株式会社が主催する官公庁オークションに参加し、電車料金箱や方向幕を売却し、4.4万円の売上高となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売実績 せり売り合計額：44,000円 システム使用料：2,200円 収益額：41,800円 	経営課

(3) 増収対策

施策No.	計画掲載	具体的な取組	◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課
43	P31	イベント時などの臨時運行 サマーナイト大花火大会をはじめとする各種イベント等の集客状況の把握に努め、臨機応変に増車の対応を行うことにより増収を図ります。	○	○	● 新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小や中止されるイベントが多かったが、必要に応じ対応を行った。 ・おはら祭 電車:臨時運行(コース、ダイヤ変更で対応) バス:迂回運行	電車事業課 バス事業課
44	P31	企画電車等の運行の推進 公的機関、企業などとのタイアップやハロウィン、クリスマスなど季節に応じた企画電車の運行について、カフエトラムやNexTram KIRIKO等の貸切運行を推進し、イベント企画事業者等に対して重点的に周知・広報を行います。	○	○	● 新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし ・企画電車運行実績:0件(0回) 対前年度増減:△5件(△20回)[令和2年度実績:5件(20回)]	電車事業課
45	P31	ICTを活用した貸切運行の促進 <新規> 市電の貸切運行を促進するため、局ホームページに、予約受付可能日時や利用可能車両一覧等を表示するほか、利用予約申込フォームを構築するとともに、貸切バスの予約に必要な基本情報をまとめた書式を掲示します。	△	△	● 予約申込フォームの内容及び実施時期について、検討中である。	経営課 電車事業課 バス事業課

(4) 効果的な資産の活用等

施策No.	計画掲載	具体的な取組	◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課
46	P31	路線移譲に伴う資産の処分等 市バスの一部路線の移譲により使用しなくなる車両や土地等の資産については、民間事業者の路線維持にも配慮しながら、関係法令に即し、貸付や売却等を行います。 [目標指標] 遊休資産(車両・土地)の売却額 (H30末)0 → (R8年度末)累計2.5億円	○	○	● 市バスの一部路線の移譲により使用しなくなる車両や土地等の資産については、民間事業者の路線維持にも配慮しながら、貸付や売却等を行った。 [目標指標の実績] 遊休資産(車両・土地)の売却額:3,747,580円(車両売却のみ)	経営課
47	P31	浜町営業所(土地・建物)の活用方法の検討 市バスの一部路線の移譲により、当面、留め置き場・休憩所として運用する浜町営業所について、その後の活用方法を検討します。	○	○	● 回転用地として活用していない場所を暫定的に廃車バス置場として使用したところであり、令和4年度中に不動産鑑定士に鑑定を依頼し、評価額の算定を行う予定である。 ● 局として、将来も使用する見込みがない部分については、今後有効活用を検討することとする。	経営課 バス事業課
48	P31	多様な資金調達方法の検討 広告企画やグッズの製作等、新たな事業を実施する場合に要する経費について、公募型資金調達などにより市場調達する手法を研究します。	○	○	● 局オリジナルカレンダーを広告媒体として提供し、当該広告料で製作費用を賄い、経費節減等を図った。 ・局オリジナルカレンダー(製作部数:3,000部)	経営課

(5)組織の活性化

施策No.	計画掲載	具体的な取組 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> ◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの </div>	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課																																										
49	P31	活力ある職場づくり 職員がやりがいや達成感を持ち、さらに意欲的な接客サービスに繋がるように、優れた取組を行った職員の表彰や、職員提案制度を実施するとともに、技能労務職から事務職等への任用を推進し、職場の活性化を図ります。また、業務改善運動実施計画を策定し、各職場における主体的な業務改善の取組を促進することで、職員のさらなる意識向上を目指します。	○	● 職員表彰を実施した。(令和3年7月1日) ・永年勤続10名 ・接客・案内マナー賞7名 ・無事故記録賞9名 ・マスタードライバー認定1名 ● 業務提案や業務改善実績について募集し、表彰した。 ・募集期間：令和3年6月1日(火)～7月16日(金) ・業務提案件数：局職員12件、市職員7件 ・業務改善実績件数(局職員のみ対象)：12件 ・表彰：業務提案:局職員2件、市職員2件、業務改善実績：3件	総務課																																										
50	P31	働き方改革等の推進 働きやすい職場環境を整えていくため、働き方改革関連法の施行にあわせて、長時間の時間外労働の是正や時季を指定した有給休暇制度の活用促進を図ります。	○	● 自動車運送事業の抜本的見直しに伴う、民間への一部路線移譲の効果もあるが、一人当たりの年休取得日数は増加。職員の時間外勤務について縮減を図った。 <table border="1" data-bbox="1167 651 1675 802"> <thead> <tr> <th></th> <th>人員数 (年度末現在)</th> <th>年休取得 延べ日数</th> <th>平均年休 取得日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>232人</td> <td>4,919日</td> <td>21日</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>258人</td> <td>4,948日</td> <td>19日</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△26人</td> <td>△29日</td> <td>+2日</td> </tr> </tbody> </table> [再掲] <table border="1" data-bbox="1167 847 1798 1015"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">職員</th> <th rowspan="2">小計</th> <th rowspan="2">会計年度任用</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>電車事業課</th> <th>バス事業課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>78,319時間</td> <td>42,185時間</td> <td>120,504時間</td> <td>8,870時間</td> <td>129,374時間</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>85,345時間</td> <td>51,564時間</td> <td>136,909時間</td> <td>7,945時間</td> <td>144,854時間</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△7,026時間</td> <td>△9,379時間</td> <td>△16,405時間</td> <td>+925時間</td> <td>△15,480時間</td> </tr> </tbody> </table>		人員数 (年度末現在)	年休取得 延べ日数	平均年休 取得日数	令和3年度	232人	4,919日	21日	令和2年度	258人	4,948日	19日	増減	△26人	△29日	+2日		職員		小計	会計年度任用	合計	電車事業課	バス事業課	令和3年度	78,319時間	42,185時間	120,504時間	8,870時間	129,374時間	令和2年度	85,345時間	51,564時間	136,909時間	7,945時間	144,854時間	増減	△7,026時間	△9,379時間	△16,405時間	+925時間	△15,480時間	総務課
	人員数 (年度末現在)	年休取得 延べ日数	平均年休 取得日数																																												
令和3年度	232人	4,919日	21日																																												
令和2年度	258人	4,948日	19日																																												
増減	△26人	△29日	+2日																																												
	職員		小計	会計年度任用	合計																																										
	電車事業課	バス事業課																																													
令和3年度	78,319時間	42,185時間	120,504時間	8,870時間	129,374時間																																										
令和2年度	85,345時間	51,564時間	136,909時間	7,945時間	144,854時間																																										
増減	△7,026時間	△9,379時間	△16,405時間	+925時間	△15,480時間																																										

4 公営交通事業者としての役割を踏まえた事業推進

(1) 交通施策との連携

施策No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課
		<p>◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの</p>			
51	P32	<p>公共交通不便地対策との連携</p> <p>交通政策の一環として市が取り組んでいる公共交通不便地対策において、現在交通局が担っている「あいばす(小原地域及び小野・伊敷地域)」の安定的な運行を行い、生活路線の維持・確保を図ります。</p>	○	<p>● 引き続き、市交通政策課の交通不便地対策事業の一部を受託し、あいばすを運行した。</p> <p><小原地域：平成29年1月5日運行開始></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行便数：火・木・土は8便(R4.2から2便減)、月・水・金は2便運行(12/31～1/3は運休) ・利用実績：計2,966人 対前年度増減：△28人 [令和2年度実績：2,994人] <p><小野・伊敷地域：平成29年2月8日運行開始> ※令和4年1月31日を持って運行終了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行便数：月・水・金は7便、火・木・土は2便運行(12/31～1/3は運休) ・利用実績：計630人 対前年度増減：△306人 [令和2年度実績：936人] 	バス事業課
52	P32	<p>路線バスと市電との結節機能の向上等</p> <p>鹿児島市公共交通ビジョンに基づき、コンパクトな市街地の形成に資するよう、14番谷山線、17番宇宿線、18番大学病院線において、路線バスと市電との結節機能を高めるフィーダー路線を運行します。</p>	○	<p>● 引き続き、フィーダー路線の14番谷山線、17番宇宿線、18番大学病院線を運行した。</p>	バス事業課

(2) 観光施策との連携

施策No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課
		<p>◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの</p>			
53	P32	<p>観光地周遊バス運行との連携</p> <p>観光施策の一環として市が取り組んでいる観光地周遊バス運行において、現在交通局が担っている「カゴシマシティビュー」「サクラジマアイランドビュー」の安定的な運行を行い、観光客等が市街地や桜島を快適に回遊し体感できる交通網づくりに貢献します。また、市観光部門と連携し、乗車券のあり方等について研究します。</p>	○	<p>● 引き続き、市観光振興課のカゴシマシティビュー運行事業、サクラジマアイランドビュー運行事業に基づき、観光地周遊バスを運行した。</p> <p><カゴシマシティビュー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行便数：1日19便、30分間隔で運行 ・利用実績：103,391人 対前年度増減：23,133人 [令和2年度実績：80,258人] <p><サクラジマアイランドビュー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行便数：1日15便、30分間隔で運行 ・利用実績：80,074人 対前年度増減：△2,194人 [令和2年度実績：82,268人] 	バス事業課

(2) 観光施策との連携

施策No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課																																		
						◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの																																	
54	P32	<p>「かごでん」のさらなる活用</p> <p>観光客の利用頻度が最も高い鹿児島中央駅前電停を発着点として、観光レトロ電車「かごでん」を運行し、観光ボランティアによる観光名所やお土産情報など地元ならではの車内案内を行います。また、旅行業者とタイアップし、「かごでん」を利用した新たなイベントを企画・実施するなど、観光電車としての魅力をさらに増すことで利用者の増加を図ります。</p>	○	<p>●利用率の低迷等に鑑み、令和3年12月末をもって観光レトロ電車としての活用を廃止、以降は、観光客のみならず幅広く市民に親しまれる「かごでん」として、通常運行等に活用することとした。</p> <p>※令和3年6月5日～12月27日まで連休、12月31日で廃止。</p> <p>・利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">定期運行</th> <th colspan="2">貸切運行</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>122人</td> <td>22便</td> <td>229人</td> <td>6便</td> <td>351人</td> <td>28便</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>292人</td> <td>48便</td> <td>70人</td> <td>3便</td> <td>362人</td> <td>51便</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△170人</td> <td>△26便</td> <td>△159人</td> <td>3便</td> <td>△11人</td> <td>△23便</td> </tr> </tbody> </table>		定期運行		貸切運行		合計		利用者数	便数	利用者数	便数	利用者数	便数	R3	122人	22便	229人	6便	351人	28便	R2	292人	48便	70人	3便	362人	51便	増減	△170人	△26便	△159人	3便	△11人	△23便	電車事業課
	定期運行		貸切運行			合計																																	
	利用者数	便数	利用者数	便数	利用者数	便数																																	
R3	122人	22便	229人	6便	351人	28便																																	
R2	292人	48便	70人	3便	362人	51便																																	
増減	△170人	△26便	△159人	3便	△11人	△23便																																	
55	P32	<p>桜島フェリーとの連携</p> <p>世界文化遺産や日本ジオパーク登録等により、国内外からの観光客等が増加していることから、市バス・電車・フェリー共通利用券(キュート)制度やオリジナルグッズの相互販売など、桜島フェリー(市船舶局)との連携を継続するとともに、新たな企画等を検討し、観光客等の周遊性の向上と利用促進を図ります。</p>	○	<p>●鹿児島市営バス・電車・フェリー共通利用券(CUTE)を販売した。(本局、市役所前、谷山電停及びイオン鹿児島鴨池店乗車券発売所、桜島営業所)</p> <p>●船舶局でサクラジマアイランドビューー日乗車券の委託販売を実施した。</p> <p>・船舶局販売実績：大人券 725枚、小児券 23枚 対前年度増減：大人券 △6枚、小児券 △11枚 [令和2年度実績：大人券 731枚、小児券 34枚]</p> <p>●オリジナルグッズの相互販売</p> <p>・交通局、船舶局共に販売実績なし。 [令和2年度実績：交通局 1個 1,000円、船舶局4個 2,300円]</p>	経営課																																		
56	P32	<p>新型花電車の製作・運行 <新規></p> <p>現行の花電車は老朽化が進み、今後の維持管理が難しいため、交通局が保有する500形車両を提供し、市観光振興部門と連携して新型花電車の製作について検討します。また、製作後においては、おはら祭をはじめとするイベント等において安全運行を行い、観光振興に貢献します。</p>	○	<p>●504号を改造し、新型花電車(花3号)の台車部分を製作した。(令和2年度)</p> <p>●車体の飾り付けについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年度は見合わせた。令和4年度の施工に向け、観光振興課と協議する予定である。</p>	電車事業課																																		
57	P32	<p>路面電車観光路線検討との連携 <新規></p> <p>観光施策の一環として市が取り組んでいる路面電車観光路線検討において、基本計画の策定に係る技術面からの支援に努めるとともに、策定後は、同計画に基づく具体的な手続き等を進め、観光振興に貢献します。</p>	△	<p>●路面電車観光路線の市担当課である交通政策課では、本港区エリアの施設整備の動向を踏まえて検討を行うこととしており、交通局としては、県・市の動向を注視しながら、必要な協力等を行っていくこととしている。</p>	電車事業課																																		

(3)まちづくり施策との連携

施策No.	計画掲載	具体的な取組 ◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課
58	P33	防災・危機管理との連携 鹿児島市地域防災計画に基づき、台風等の風水害や桜島での火山爆発などの災害時において、市災害対策本部における各対策部の連携による市バスを用いた避難への迅速な対応など、交通局に課せられた役割を果たします。また、市が実施する桜島火山爆発総合防災訓練などの各種訓練等に参加します。	○	【総務課】 ● 市災害対策本部における各種訓練等に参加した。 ・桜島火山爆発総合防災訓練 ・災害対策本部設置訓練(地震・津波) など 【バス事業課】 ・8月17日 大雨による竜ヶ水地区避難バス運行 要請1台2名搬送	総務課 バス事業課
59	P33	環境施策との連携 低公害バスの運行や軌道敷内芝生の維持管理、市電のブレーキ時における電気の再利用など、環境に配慮した取組を継続するとともに、これらの取組を広くPRすることにより、利用促進に繋がります。また、地球温暖化を防止するために鹿児島都市圏地球温暖化防止交通対策協議会が実施しているエコ通勤推進活動に参加、協力し、公共交通機関への利用転換や利用促進に努めます。 [目標指標] 排出ガス規制適合車の割合(バス) (H30末)63.8% →(R8末)80.0%	○	【経営課】 ● 鹿児島都市圏地球温暖化防止交通対策協議会が実施しているエコ通勤推進活動に参加し、平成21年度から引き続き、エコ通勤特別割引制度に協力した。 ・エコ通勤割引利用実績(延べ利用者数:平成21年11月11日～令和4年3月31日) 電車: 1,610人、バス: 10,568人 【電車事業課】 ● 引き続き、市公園緑化課から業務を受託し、軌道内芝生の芝刈・散水業務を実施した。 (令和3年度実績:芝刈5回、散水2回) 【バス事業課】 ● 排出ガス規制適合車を導入し、地球温暖化防止に取り組んでいる。 [目標指標の実績] 排出ガス規制適合車の割合(バス): 82.2%(令和4年3月31日時点) 対前年度増減: △1.5% [令和2年度実績: 83.7%]	経営課 電車事業課 バス事業課

(3)まちづくり施策との連携

施策No.	計画掲載	具体的な取組 ◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課																																																																		
60	P33	福祉施策との連携 今後とも、低床型の車両を積極的に運行するほか、敬老パス・友愛パス制度との連携や運転免許の自主返納に伴う市電・市バスの半額制度への協力、シニア定期券の発行など、高齢者や障害者が気軽に利用できる環境を整え、利用促進に繋がる取組を進めます。 【目標指標】シニア定期券販売枚数 (H30末)2,039枚/年 → (R8末)2,100枚/年	○	【経営課】 ● お達者クラブ等から要請を受けて市政出前トークを実施し、敬老パス制度やシニア定期券などの利用方法等について説明した。 ・市政出前トーク実施件数：7件(令和3年度) ● 65歳以上の高齢者を対象に、通学定期券の料金を購入できるシニア定期券の販売を行った。 【電車事業課】 ● 約4本に1本の割合で、低床車両を運行した。 【バス事業課】 ● 一部の小型バス等を除き、全車低床バスで運行した。 ※在籍バス135両中、116両が低床バス、1両がリフト付き大型貸切観光バス ● 運転免許自主返納割引制度への協力を行った。 ・運転免許自主返納割引利用実績 <table border="1" data-bbox="1122 671 1496 794"> <thead> <tr> <th></th> <th>電車</th> <th>バス</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>810 件</td> <td>282 件</td> <td>1,092 件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>796 件</td> <td>362 件</td> <td>1,158 件</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>14 件</td> <td>△ 80 件</td> <td>△ 66 件</td> </tr> </tbody> </table> ● 敬老パス・友愛パス制度との連携を行った。 ・敬老パス・友愛パス利用実績 <table border="1" data-bbox="1122 863 1921 1002"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">電車</th> <th colspan="2">バス</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>敬老</th> <th>友愛</th> <th>敬老</th> <th>友愛</th> <th>敬老</th> <th>友愛</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>831,066 件</td> <td>733,043 件</td> <td>948,864 件</td> <td>582,877 件</td> <td>1,779,930 件</td> <td>1,315,920 件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>749,404 件</td> <td>688,681 件</td> <td>1,059,776 件</td> <td>632,605 件</td> <td>1,809,180 件</td> <td>1,321,286 件</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>81,662 件</td> <td>44,362 件</td> <td>△ 110,912 件</td> <td>△ 49,728 件</td> <td>△ 29,250 件</td> <td>△ 5,366 件</td> </tr> </tbody> </table> 【目標指標の実績】 ●シニア定期券販売枚数 <table border="1" data-bbox="1122 1102 1509 1241"> <thead> <tr> <th></th> <th>電車</th> <th>バス</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>1,231 枚</td> <td>663 枚</td> <td>1,894 枚</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>824 枚</td> <td>525 枚</td> <td>1,349 枚</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>407 枚</td> <td>138 枚</td> <td>545 枚</td> </tr> </tbody> </table>		電車	バス	合計	R3	810 件	282 件	1,092 件	R2	796 件	362 件	1,158 件	増減	14 件	△ 80 件	△ 66 件		電車		バス		合計		敬老	友愛	敬老	友愛	敬老	友愛	R3	831,066 件	733,043 件	948,864 件	582,877 件	1,779,930 件	1,315,920 件	R2	749,404 件	688,681 件	1,059,776 件	632,605 件	1,809,180 件	1,321,286 件	増減	81,662 件	44,362 件	△ 110,912 件	△ 49,728 件	△ 29,250 件	△ 5,366 件		電車	バス	合計	R3	1,231 枚	663 枚	1,894 枚	R2	824 枚	525 枚	1,349 枚	増減	407 枚	138 枚	545 枚	経営課 電車事業課 バス事業課
	電車	バス	合計																																																																				
R3	810 件	282 件	1,092 件																																																																				
R2	796 件	362 件	1,158 件																																																																				
増減	14 件	△ 80 件	△ 66 件																																																																				
	電車		バス		合計																																																																		
	敬老	友愛	敬老	友愛	敬老	友愛																																																																	
R3	831,066 件	733,043 件	948,864 件	582,877 件	1,779,930 件	1,315,920 件																																																																	
R2	749,404 件	688,681 件	1,059,776 件	632,605 件	1,809,180 件	1,321,286 件																																																																	
増減	81,662 件	44,362 件	△ 110,912 件	△ 49,728 件	△ 29,250 件	△ 5,366 件																																																																	
	電車	バス	合計																																																																				
R3	1,231 枚	663 枚	1,894 枚																																																																				
R2	824 枚	525 枚	1,349 枚																																																																				
増減	407 枚	138 枚	545 枚																																																																				
61	P33	都市計画との連携 かごしまコンパクトなまちづくりプラン(立地適正化計画)に基づき、コンパクトな市街地の形成に資するよう、住宅団地や集落と中心市街地等を結ぶ市バス路線網の構築等を検討します。	○	【総合企画課】 ● 庁内で開催される会議に参加した。 ・団地再生推進庁内検討会(令和4年3月書面開催) 【バス事業課】 ● 団地再生推進事業対象団地の一部(伊敷・伊敷NT・緑ヶ丘・玉里・城山)において、路線バスを運行した。	総合企画課 バス事業課																																																																		

(4) 地域社会に根ざした取組

施策No.	計画掲載	具体的な取組 ◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容を検討中のもの	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課																				
62	P33	職場体験等やインターンシップの受入 次代を担う中学生・高校生の職場体験や園児学童等の施設見学を通じて、市電・市バスに対する理解と親しみを持ってもらう機会を提供するとともに、インターンシップの受入を行います。 [目標値] 職場体験学習アンケート結果で「交通局を選んでよかった」の割合(H30末)60% → (R8末)90%	○	【総務課】 ● 高校1校3名の職場体験の受入を行った。 ・電車：廃車予定の両替機の分解・分別作業、工場見学等 ・バス：清掃作業、自動車点検等 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年1月27日～3月は受入を行わなかった。 対前年度増減：△3名[令和2年度実績：中学校1校3名、高校1校3名] 【電車事業課】 ● 園児学童等の施設見学(資料展示室・市電整備工場)の受入を行った。 <table border="1" data-bbox="1122 539 1653 683"> <thead> <tr> <th></th> <th>施設見学</th> <th>小児・小人</th> <th>大人</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>48件</td> <td>98人</td> <td>108人</td> <td>206人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>26件</td> <td>138人</td> <td>73人</td> <td>211人</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>22件</td> <td>△40人</td> <td>35人</td> <td>△5人</td> </tr> </tbody> </table>		施設見学	小児・小人	大人	合計	R3	48件	98人	108人	206人	R2	26件	138人	73人	211人	増減	22件	△40人	35人	△5人	総務課 電車事業課
	施設見学	小児・小人	大人	合計																					
R3	48件	98人	108人	206人																					
R2	26件	138人	73人	211人																					
増減	22件	△40人	35人	△5人																					
63	P33	ゆーゆーフェスタ等イベントの実施 交通局敷地などにおいて、ゆーゆーフェスタや電車運転体験など、町内会をはじめ関係団体等と連携しながら、市電・市バスに関連したイベント等を行うことで、多くの方々に直接車両等に触れていただき、親しみ・興味を持っていただく機会を提供します。また、イベント等の検討にあたっては、新規利用者の獲得や乗車マナーの啓発等に向け、適宜、内容の見直しを検討します。	△	【総合企画課】 ● 例年10月下旬に開催しているゆーゆーフェスタについて、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、開催を中止した。 【電車事業課】 ● 例年開催している市電運転士体験等について、一部開催内容を見直し実施した。 【令和3年度実績:6月[路面電車の日「かごでん」ツアー]、8月[夏休み運転体験]】 【バス事業課】 ● 例年開催している整備士体験、バスガイド体験(8月)について、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、開催を中止した。	総合企画課 電車事業課 バス事業課																				
64	P33	職員によるボランティア活動 交通局が地域社会の一員として社会貢献を果たすために、局舎周辺や軌道内の清掃活動に取り組むとともに、職場単位や職員個人でのボランティア活動等を支援します。	○	● 毎月第4水曜日にボランティア清掃を行った。	総務課																				
65	P34	企業や地域団体との連携 企業や商業施設、地域団体等と連携し、各種イベントへの参加協力や乗車体験等の実施、停留場等付近のマップ作成、グッズの共同開発等に取り組み、地域活性化にも寄与しながら、市電・市バスのイメージアップと魅力向上を図ります。	○	● マルヤガーデンズと鹿児島ロフトの周年イベントに参画し、車両部品の展示やオリジナルグッズの販売を行うことにより、市電・市バスのイメージアップを図った。 ・イベント名：「かごしまの乗り物 POP UP SHOP」 ・開催期間：令和3年4月16日～5月9日 ● 沿線の飲食店等と連携して、1日乗車券の提示等で特典が受けられる「交通局タイアップ店」を登録し、同店を掲載した「1日乗車券・24時間乗車券タイアップ店ガイドマップ」(天文館周辺・鹿児島中央駅周辺)を作成した。 ・タイアップ店登録数:36店(R4.5.31現在35店) ・運用開始:令和3年8月 ・マップ製作枚数:37,000枚 ・マップ配布方法:1日乗車券販売時に券と一緒に配布 ※スマホ1日乗車券、24時間乗車券はアプリ内でマップを閲覧し、電子クーポンで特典利用	経営課																				

(4) 地域社会に根ざした取組

施策 No.	計画 掲載	具体的な取組 ◎=実施済(完了)のもの ○=実施中(継続中)のもの △=実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和3年度実績 (実施内容)	所管課
66	P34	大学等との連携 それぞれの持つ人材や資源、機能等を活用するため、市と協定を締結している大学や専門学校等と連携し、若者感覚を取り入れたイベントの実施やグッズの共同開発、デザイン電車の製作等に取り組み、市電・市バスの魅力向上と収入増を図ります。	○	●「さつまグニョン」のラッピング電車がR3年3月で運行終了したことから、新たな連携として、グッズの共同開発等について内部検討を行った。	経営課
67	P34	資料展示室のリニューアル <新規> 多くの市民の方々等に繰り返し訪れていただけるよう、供用開始から一定期間が経過している局舎3階の資料展示室について、展示品の入れ替えや年表等の書き換えなど、全体的なリニューアルを検討します。	△	● 全体的なリニューアルについて、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経営への影響を考慮し、実施時期等を含め検討した。	総務課

◎
○
△
×

13

	電車		バス		電車・バ 車両数
	車両数	対応率	車両数	対応率	
R3	17/55両	30.9%	117/ 135両	86.7%	134/ 190両
R2	17/55両	30.9%	134/ 153両	87.6%	151 / 208両
増減	なし	0.0%	△17//△18両	△ 0.9%	△17//△18両

60 免許返納

	電車	バス	合計
R3	810 件	282 件	1,092 件
R2	796 件	362 件	1,158 件
増減	14 件	△ 80 件	△ 66 件

60 敬老・友愛

	電車
	敬老
R3	831,066 件
R2	749,404 件
増減	81,662 件

バス合計
対応率
70.5%
72.6%
△ 2.1%

車	バス		合計	
	敬老	友愛	敬老	友愛
友愛				
733,043 件	948,864 件	582,877 件	1,779,930 件	1,315,920 件
688,681 件	1,059,776 件	632,605 件	1,809,180 件	1,321,286 件
44,362 件	△ 110,912 件	△ 49,728 件	△ 29,250 件	△ 5,366 件

R3
R2
増減

シニア定期券

電車	バス	合計
1,231 枚	663 枚	1,894 枚
824 枚	525 枚	1,349 枚
407 枚	138 枚	545 枚